

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③精算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(A)	補助対象事業費				事業実施状況	1.事業効果 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった	2.事業効果の具体的な理由	
								(B)=(C)+ (D)+(E)+ (F)	国庫補助額(C)	交付金充当経費(D)	起債額(E)				その他(F)
1	単独	ひとり親家庭等生活支援給付金支援事業	①感染症の影響により生活が困難するひとり親世帯に対して給付金を支給することで日常生活を支援する。 ②児童扶養手当受給者及びそれに準ずる者に対する生活支援に要する経費 ③3万円×660人、事務用消耗品 43千円、郵送料 70千円、広告料 35千円 ④ひとり親家庭等	社会福祉課	R2.5.1	R2.10.2	18,167,679	18,167,679	0	18,100,000	0	67,679	支給件数 394件 18,090,000円 事務用消耗品 32,391円、郵送料 13,388円、 新聞掲載料 31,900円	①非常に効果的であった	新型コロナウイルスの影響で、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯へ給付金による生活支援を行うことにより、世帯の福祉の向上に資することができた。
2	単独	障がい者事業所による園児用マスク製作・配布事業	①感染症の影響により作業量(工賃収入)が減少している障がい者事業所にマスクの園児用マスクの製作を依頼することで、当該施設の経営の安定化を図るとともに、子ども用マスクを確保する。 ②障がい者就労継続支援事業所の園児用マスク製作に要する経費 ③1千円×1,000組 ④市内の障がい者就労施設	社会福祉課	R2.6.17	R2.7.31	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000	0	0	マスク製作・配布数 1,000組 1,000,000円	①非常に効果的であった	園児の感染予防の強化が図られたとともに障がい者事業所の経営的な支援にも繋がった。
3	単独	民生児童委員活動支援事業	①民生児童委員による要援護高齢者等に対する生活支援が、感染症拡大防止のために対面式で行うことができず、やむを得ず電話による支援を行っていることから、支援に要した電話代を支給する ②民生児童委員活動費の上乗せ分に充当 ③5千円×142人 ④民生児童委員	社会福祉課	R2.6.10	R2.6.29	710,000	710,000	0	700,000	0	10,000	訪問活動代替活動用電話料負担 142人 710,000円	①非常に効果的であった	対面による接触や自宅訪問が難しい中でも、電話による安否確認、心配ごとの相談を行うことで活動を継続することができた。
5	単独	妊婦を対象とした消毒液配布事業	①免疫力が低下するとされる妊婦を対象として消毒液を配布する ②消毒液の購入、配布に要する経費に充当 ③1,760円×500人、郵送料 120千円(＠600×200人分*すでに妊娠中の方のみ郵送するため) ④市内在住の妊婦	健康推進課	R2.6.10	R2.6.30	963,250	963,250	0	900,000	0	63,250	アルコールハンドジェル 500個 880,000円 郵送料 83,250円	②効果的であった	消毒液等が手に入りづらい時期に妊婦の方々に配布することができたため、感染拡大防止や不安軽減に一定の効果があったと考える。
6	単独	感染拡大予防対策事業	①感染防止資材(マスク、消毒液等)を確保し備えることで、市内公共施設における感染予防、拡大防止を図る。 ②公共施設等において感染症の拡大防止のために使用するマスク、消毒液等の購入に要する経費に充当 ③マスク、消毒液、体温計等 6,800千円 ④地方公共団体	健康推進課	R2.6.10	R3.2.5	4,449,102	4,449,102	0	4,440,000	0	9,102	消耗品費 5,022,882円のうち、4,449,102円 マスク 60,050枚 消毒液 523個 フェイスシールド 600枚 非接触型体温計 55個 飛沫感染防止パネル 6個 等	②効果的であった	本臨時交付金を活用しマスクや消毒液を購入し、公共施設等に設置したことにより、感染拡大防止に効果があつたと考えられる。
8	単独	緊急制度資金(利子補給・保証料補助)	①感染症の影響により売上、受注が減少している事業者の資金繰りを支援する。 ②事業者の借入に対する利子及び保証料の補助に要する経費に充当 ③利子補給 35,200千円、保証料補助額 94,800千円(5～3月分) ④銀行等金融機関	工業振興課	R2.4.1	R3.3.30	113,803,986	93,692,793	0	90,000,000	0	3,692,793	補助件数 243件 113,803,986円	①非常に効果的であった	感染症の影響を受け、売上が一定以上減少している多くの市内製造業等の資金繰りを支援することができた。
9	単独	生産性向上・新技術開発等チャレンジ奨励金	①感染症の影響により受注が減少している製造業に対し、収束後を見据えた新たな取組を促進することで事業の継続を支援する。 ②売上げが減少しつつも感染症が収束後の事業展開に向けて新技術開発に取り組む事業者に対する奨励金に充当 ③60万円×23事業者、80万円×74事業者 ④市内事業者	工業振興課	R2.6.11	R2.9.4	73,000,000	73,000,000	0	73,000,000	0	0	補助件数 97件 73,000,000円	①非常に効果的であった	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上が減少している市内製造業等に、生産性向上に寄与する環境整備又は新たな研究開発等を促し、もって販路開拓及び営業活動等を支援することができた。
11	単独	雇用維持応援事業	①雇用調整助成金の事業所負担分に対する上乗せ補助を実施し、市内事業所の事業継続と従業員の雇用を維持を図る。 ②雇用調整助成金個別相談会の開催経費及び雇用調整助成金を利用しつつお生じる企業負担分に対する補助に要する経費に充当 ③1事業所当たり上限30万円×7事業者 ④市内事業者	工業振興課	R2.8.1	R3.3.30	1,593,957	1,593,957	0	1,590,000	0	3,957	補助件数 26件 1,606,703円のうち、1,593,957円	①非常に効果的であった	個別相談会の開催により雇用調整助成金の利用促進を図ったほか、雇用調整助成金の上乗せ補助の実施により、事業所の事業継続、従業員の雇用維持促進を図ることができた。
12	単独	県・市町村連携新型コロナウイルス拡大防止協力企業等特別支援事業	①②長野県と市町村が連携して実施する、休業要請に応じた事業者に対する協力金等給付事業への市町村協力金(1事業所当たり県20万円・市町村10万円の計30万円を給付) ③178事業所×10万円(市町村協力金分) ④長野県(事業者へは県から給付)	商業観光課	R2.5.1	R2.10.16	17,800,000	17,800,000	0	17,800,000	0	0	長野県への負担金(178件分) 17,800,000円	①非常に効果的であった	休業等の要請に応じた事業者に対して、早期に支援を実施することができた。
13	単独	事業者感染症対策・テイクアウト等支援、地域通貨利用促進事業	①感染症の影響により売上の減少が著しい事業者が行う店内の感染症対策及びテイクアウトサービスに必要な経費などを支援することで、感染防止を図るとともに消費喚起を促す。 ②③ (1)事業者(飲食業以外)が行う、感染症対策に対する補助に要する経費に充当 5万円(補助対象経費の10/10、上限5万円)×260事業者 (2)事業者(飲食業)が行う、感染症対策、宅配・テイクアウトサービスに対する補助に要する経費に充当 10万円(補助対象経費の10/10、上限10万円)×100事業者 (3)市内飲食店等の宅配・テイクアウトサービスを利用した者に対する地域通貨のポイント付与に要する経費に充当 (プラスワン消費促進事業活用※県補助金(補助率1/2)1,562千円) 500ポイント(500円)×5000件×1.25(ポイント発行手数料) ④岡谷商工会議所	商業観光課	R2.5.15	R2.6.19	19,420,000	19,420,000	0	17,800,000	0	1,620,000	商工会議所への補助金 19,420,000円 事業者への補助件数 282件 ポイント付与件数 5,000件	①非常に効果的であった	売上が減少した事業者に対して、事業の継続につながる支援を実施することができた。
14	単独	商業等事業継続緊急支援事業	①売上げが一定程度減少した事業者に対して、事業にかかる賃料(家賃)の一部を支援し事業継続を支援する ②事業に必要な賃料(家賃)の1/3以内、上限6万円を補助する経費に充当 ③6万円×70事業者 ④岡谷商工会議所	商業観光課	R2.5.15	R2.11.13	4,130,000	4,130,000	0	4,100,000	0	30,000	岡谷TMOへの補助金 4,130,000円 事業者への補助件数 79件	①非常に効果的であった	売上が減少した事業者に対して、事業の継続につながる支援を実施することができた。
15	単独	家庭学習支援図書カード配布事業	①②臨時休校中の小中学生に対して、家庭学習を支援するため配布する図書カードの購入に要する経費に充当 ③3千円×3700人 ④市内の児童・生徒	教育総務課	R2.5.1	R2.5.28	11,037,000	11,037,000	0	11,000,000	0	37,000	配布数 3,679人 11,037,000円	①非常に効果的であった	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学校が休校となる中で、参考書や読書のための本を購入することで、家庭学習の推進が図られた。
16	単独	分散登校給食費支援事業	①学校生活リズムや集団生活に慣れるため、臨時休校期間中に行う分散登校時に学校給食を提供するとともに、給食費を公費負担することで家庭の経済的支援を行う。 ②臨時休校中に行う分散登校時の学校給食の提供に要する経費に充当 ③290円×2300人×3回(小学校分) 330円×1300人×3回(中学校分) ④市内児童・生徒	教育総務課	R2.5.15	R2.6.19	3,299,100	3,299,100	0	3,200,000	0	99,100	提供食数 小学校分 7,068食 2,049,720円 中学校分 3,786食 1,249,380円	①非常に効果的であった	各校の給食費徴収・支払いの負担を軽減するとともに、子育て世帯の経済的負担軽減を図ることができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③精算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(A)	補助対象事業費 (B)=(C)+(D)+(E)+(F)				事業実施状況	1.事業効果 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった	2.事業効果の具体的な理由
								国庫補助額(C)	交付金充当経費(D)	起債額(E)	その他(F)			
17	単独	修学旅行費キャンセル料支援事業	①感染症の影響により延期を余儀なくされた修学旅行のキャンセル料について公費負担することで子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。 ②感染症拡大の影響により、修学旅行の延期を余儀なくされたために生じるキャンセル料を公費で負担する経費に充当 ③3000円×83人×2回 3500円×142人×1回 ④市内児童生徒	教育総務課	R2.6.10	R3.1.28	1,370,796	0	1,000,000	0	370,796	支援校数 中学校4校 1,370,796円	①非常に効果的であった	各校のキャンセル料の支払い対応の負担を軽減するとともに、子育て世帯の経済的負担軽減を図ることができた。
18	単独	岡谷市民病院事業会計繰出	①感染症指定医療機関として、院内感染の防止を徹底するとともに、地域医療体制の強化を図る。 ②岡谷市立岡谷市民病院事業会計に繰り出し、感染症の拡大期や蔓延期においても、きめ細かい医療を提供することができるよう「発熱・外来センター」設置に要する経費に充当 (1.既存手術室の感染症患者対応のため陰圧化改修経費 1200万円のうちの700万円、2.感染症まん延期において受付から会計までのすべての対応を同一場所で完結するための既存施設の改修経費 1760万円のうちの1560万円、その他医療従事者用マスク等の購入に要する経費240万円) ③25,000千円(岡谷市民病院事業との協議により) ④岡谷市民病院	企画課 財政課	R2.9.4	R3.3.31	25,000,000	0	25,000,000	0	0	岡谷市民病院への負担金 25,000,000円	②効果的であった	「発熱・外来センター」の設置により、感染症の拡大期や蔓延期においてもきめ細かい医療の提供ができた
19	単独	岡谷プレミアム商品券事業	①感染症の影響により落ち込んだ地域経済の回復を図るため、30%のプレミアムを付けた商品券を販売し消費需要を喚起する。 ②13000円分の商品券を10000円で販売し、その差額(プレミアム分)及び事業の実行に係る事務費を交付対象経費とする。 ③負担金(プレミアム分) 3千円×63000枚 店舗募集、販売等委託料 31,100千円×一式 その他消耗品費 500千円 (プラスワン消費促進事業活用※県補助金(補助率1/2)110,300千円) ④岡谷商工会議所	商業観光課	R2.7.1	R3.2.12	215,343,354	0	107,600,000	0	107,743,354	プレミアム分負担金 187,338,000円 店舗募集・販売等委託料 27,663,328円 消耗品費 342,026円 ※商品券発行総額 819,000,000円 利用可能加盟店舗数 413店舗 消費喚起効果額 817,338,000円	①非常に効果的であった	過去の同様な施策と比較しても非常に大きな経済効果を創出し、市内消費の喚起につながった。
20	単独	市役所庁舎新型コロナウイルス感染症対策事業	①市役所庁舎における感染対策を徹底することで、利用者の安全・安心を確保する。 ②トイレの非接触対応(自動水栓、自動照明)、窓口へのアクリルパネル設置に要する経費に充当する。 ③トイレ洗面台の自動水栓 158千円×13箇所 トイレ照明の自動化 80千円×6箇所 アクリルパネル 16千円×35台 その他消耗品費 130千円 ④地方公共団体	総務課	R2.7.13	R3.2.26	3,161,462	0	3,000,000	0	161,462	消耗品費 157,971円、工事請負費 2,446,950円、備品購入費 558,250円 合計3,163,171円のうち 3,161,462円 飛沫防止パネル 75個 等 トイレ自動照明化数 17箇所 トイレ自動水栓化数 17箇所	②効果的であった	飛沫防止パネルや消毒液を設置し、感染拡大防止の対策を行った。水栓、照明等の不特定多数が接触する機会を自動化により削減することができ、感染拡大防止に効果があったと考えられる。
22	単独	新型コロナウイルス感染症対策行政事務交付金事業	①市内各自治区における感染予防として、公会所等で使用するマスク、消毒液、ハンドソープ等を購入し対策を徹底するための経費として交付金を交付する。 ②行政事務交付金の追加分に充当する。 ③100千円×21地区 ④市内21自治区	秘書広報課	R2.7.9	R2.7.20	2,100,000	0	2,100,000	0	0	交付件数 21地区 2,100,000円	①非常に効果的であった	感染症が拡大した時には、マスクや消毒液などが品薄状態で高騰していたため、交付金を活用してマスク等を購入するなど感染防止対策を講じられた。
24	単独	農産物販売促進応援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、販売機会及び売り上げが減少している市内農業者が、感染防止対策を徹底した上で取り組む収穫体験、直売、ネット販売など新たな販路の開拓を後押しすることで売上の回復を図る。 ②市内農業者が感染防止対策を徹底した上で行う収穫体験及び直売に要する経費、ネット販売に要する経費に対する補助に充当する。 ③収穫体験及び直売補助 50千円×28者 収穫体験及び直売+ネット販売 100千円×1者 ④市内農業者	農林水産課	R2.8.18	R3.1.20	150,000	0	150,000	0	0	補助件数 10件 832,490円のうち、150,000円	①非常に効果的であった	マルシェやイベントの中止により農産物の販売機会や販路が縮小している中で、感染防止対策を徹底した上で行う直売、ネット販売に取り組む生産者を支援することができたことから、相応の効果があったと考えられる。
26	単独	岡谷健康福祉施設感染症対策支援事業	①市が休業要請及び入場制限要請を行った公の施設(岡谷健康福祉施設ロマネット)の適正な管理運営を図るとともに、施設における感染防止対策を徹底するため、指定管理者(利用料金制)を支援する。 ②感染症の拡大による影響を受けていて、かつ利用料金制を導入している指定管理者に対する支援金に充当する。 ③35,000千円(年間維持管理経費見込額117,000千円×0.3(施設の管理運営に要する経費の3割を上限とする)) ④指定管理者	健康推進課	R2.9.4	R2.10.1	30,000,000	0	30,000,000	0	0	岡谷健康福祉施設(ロマネット)への負担金 30,000,000円	②効果的であった	感染拡大に伴い運営資金にも大きな影響を受けていたが、収支均衡を目標に支援を行い、安全で安定的な運営が持続できたと考えられる。
27	単独	コロナに負けるな採用活動強化推進事業	①コロナ禍にあっても採用意欲のある市内企業の採用活動を後押しすることで、市内企業の人材確保と若年層の市内への移住定住を促進する。 ② i 市内企業を対象としたWeb採用活動セミナーの開催に要する経費 ii 市内企業が就職求人サイトを利用した際の経費に対する補助 iii 市内企業がWebシステムを導入した際の経費に対する補助 以上の経費に対して充当する。 ③ i Web採用活動セミナー 報償費 33千円×2.5h×2回 広告料 27.5千円×2回 ii 就職求人サイト利用に対する補助 300千円×12社 iii Webシステム導入に対する補助 300千円×6社 ④市内中小企業(個人事業主を含む)	工業振興課	R2.9.23	R3.3.30	2,589,850	0	2,500,000	0	89,850	補助件数 22件 4,945,000円のうち、2,377,000円 講師謝礼 165,000円、広告料 47,850円	①非常に効果的であった	セミナー開催によるWeb採用活動における採用力強化及び、就職求人サイト掲載や採用にかかるWebシステム導入費用への補助により、コロナ禍での採用力強化を支援することができた。
28	単独	読み聞かせ活動用資機材整備事業	①小中学校及び学童クラブ等において本の読み聞かせを活動を行う際の感染防止対策を図る。 ②読み聞かせの際に使用するビニールパーテーション及びハンズフリー拡声器の購入経費に充当する。 ③ビニールパーテーション 5082円×23個 ハンズフリー拡声器 7865円×23個 ④地方公共団体	図書館	R2.10.6	R2.10.6	297,781	0	200,000	0	97,781	感染防止対策消耗品の購入 297,781円 パーテーション 23個 ハンズフリー型拡声器 23個	②効果的であった	読書活動グループを通して、保護者や個人まで広く周知され、読み聞かせ再開に繋がった。また、活動への士気が高まった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③精算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(A)	補助対象事業費(B)=(C)+(D)+(E)+(F)				事業実施状況	1.事業効果 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった	2.事業効果の具体的な理由	
								国庫補助額(C)	交付金充当経費(D)	起債額(E)	その他(F)				
29	単独	GIGAスクール構想対応事業	①国が進めるGIGAスクール構想に係る対応 ②地方財政措置の児童生徒数の1/3の端末整備及び教育用ネットワーク環境整備に要する経費に充当する。 ③タブレット端末 45千円×1130台 上乗せ分 1500円×3556台 教育用クラウドの構築及び初期設定費用 9843円×3556台 教育用ネットワークの分離及び強化 6,600千円×1式 ④市内11小中学校	教育総務課	R2.10.5	R3.3.26	93,412,374	93,412,374	0	93,250,000	0	162,374	支援学校数 11校 購入端末数 1,130台 50,851,130円 スタイスペン等 4,177,470円 初期設定費用 3,556台分 31,818,974円 環境整備委託 6,564,800円	①非常に効果的であった	コロナウイルス感染症への不安の中、子どもたちへの1人1台端末の導入また使用環境の整備ができ学校活動の継続が図られた
31	単独	岡谷市新型コロナウイルス対応基金造成事業(利子補給)	①新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市内事業者に対する利子補給を継続的に行うための基金を造成する。 ②基金積立金に充当する。 ③全体利子補給見込み額70,000千円のうち、現時点で令和3年度及び令和4年度に確実に必要となる利子補給の額20,000千円(全体利子補給見込み額70,000千円の3割相当) ④銀行等金融機関	工業振興課	R3.2.17	R3.2.26	20,000,000	20,000,000	0	20,000,000	0	0	利子補給基金積立金 20,000,000円	①非常に効果的であった	令和3年度3月末時点で19,566,016円分補給済み。令和4年度見込み分も含め、基金を全額、利子補給という形で感染症により影響を受けた市内事業者の支援に使用することで、資金繰りに役立てることができる見込み。
33	単独	産業振興拠点施設機能強化事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により受注量が減少している市内企業が、感染症収束後の備えとして、従業員を休ませることなく新たな研究開発にチャレンジする取組を産学官連携により支援するため、本市の産業振興拠点施設内の産学連携機能を強化整備し、地域経済の回復と強靱な経済構造の構築を図る。 ②本市の産業振興拠点「テクノプラザ岡谷」内に、大学等との共同研究が可能な機能を付するための経費に充当する。 ③工事請負費 オートクレーブ(CFRP成型機器)設置費 6,696千円 電気・機械設備改修費 2,988千円 万能試験機・電子顕微鏡設置費 3,960千円 電話設備改修費 58千円 Web会議対応工事(通信環境、レイアウト変更) 4,648千円 その他(電光看板設置等) 1,650千円 ④テクノプラザ岡谷	工業振興課	R3.2.26	R4.3.23	23,307,215	23,307,215	0	20,000,000	0	3,307,215	設計委託 440,000円 工事請負費 19,822,000円 備品購入費 3,045,215円 テーブル、加湿空気清浄機、シュレッダー、プリンター、ロールスクリーン、ノートPC 等	①非常に効果的であった	テクノプラザおみや内に信州大学諏訪園サテライトキャンパス、コワーキングスペースを整備したことにより、コロナ禍における働き方の多様化に対応することができ、また産学連携機能が強化されたことにより、大学等との共同研究等の機運が高まっており、地域経済の回復と強靱な経済構造の構築が図られている。
34	単独	消防団活動感染防止資機材整備事業	①災害・火災等有事の際に現場の最前線で活躍する消防団員の感染予防を徹底するため、マスク、消毒液を配布する。 ②消防団員が使用するマスク、消毒液の購入に要する経費に充当する。 ③マスク 42円×20000枚 消毒液 1600円×100本 ④岡谷市消防団員	消防課	R2.12.14	R2.12.28	649,000	649,000	0	600,000	0	49,000	感染防止対策消耗品の購入649,000円 支援施設数 12施設 マスク 50,000枚 消毒薬 100個 等	②効果的であった	コロナ禍においても消防団員は有事の際、必要な活動を求められる中で、基本的な予防対策の徹底を図ることができた。
38	単独	商業等振興補助事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大により、市内事業者は特に大きな影響を受けており、事業の継続すら危ぶまれている状況にあることから、家賃のほか、集客力向上に向けた店舗改修に要する経費を補助する。 ②市内事業者が行う店舗改修補助、家賃補助に要する経費に充当する。 ③店舗改修補助 500千円×10件 家賃補助 250千円×17件 ④市内事業者	商業観光課	R2.4.1	R3.3.30	5,960,000	5,960,000	0	5,675,000	0	285,000	補助件数 32件 9,136,000円のうち、5,960,000円	①非常に効果的であった	コロナ禍においても店舗改修を実施する事業者に対して支援することができた。
41	単独	高齢者インフルエンザ予防接種事業	①新型コロナウイルス感染症については、高齢者が特に重症化しやすいとされている。また、例年冬季にはインフルエンザが流行している。こうしたことから、高齢者インフルエンザ予防接種を公費にて実施することで、新型コロナウイルス感染症との二重の感染を防ぎ高齢者の生命を守るとともに、入院・通院を抑制することで安定した地域医療提供体制を維持する。 ②高齢者インフルエンザ予防接種の実施に要する経費に充当する。 ③予防接種委託料 4730円×1000回 予防接種委託料 3530円×1000回 ④市内65歳以上高齢者	健康推進課	R2.4.1	R2.12.28	39,078,535	39,078,535	0	39,000,000	0	78,535	予防接種人数 10,748人 39,124,840円のうち、39,078,535円	②効果的であった	高齢者インフルエンザ予防接種の費用の一部負担を実施することで、新型コロナウイルス感染症との二重の感染を防ぎ高齢者の生命を守るとともに、入院・通院を抑制することで安定した地域医療提供体制を維持することができた。
43	単独	年末年始休日当番医設置事業	①年末年始における安定的な地域医療体制を整えるため、休日当番医を拡充する。 ②休日当番医拡充のための委託料に充当する。 ③委託料 171,430円×5日間×1.1 ④地方公共団体	健康推進課	R2.6.10	R3.1.4	942,868	942,868	0	900,000	0	42,868	年末年始発熱患者診療検査委託 5日 942,868円	②効果的であった	新型コロナウイルス感染症の感染拡大年末年始における安定的な地域医療体制を整えるため、休日当番医を拡充することができた。
45	単独	子どもインフルエンザ予防接種助成事業	①例年冬季にはインフルエンザが流行していることから、インフルエンザワクチンの接種費用を助成することで、接種を奨励し、新型コロナウイルス感染症との二重の感染を防ぎ高小児の生命を守るとともに、入院・通院を抑制することで安定した地域医療提供体制を維持する。 ②子どもインフルエンザ予防接種の助成に要する経費に充当する。 ③予防接種助成 1000円×9851回 封筒印刷 40円×5600枚×1.1 はがき印刷 6円×5600枚×1.1 シール印刷 22円×5600枚×1.1 郵送料 63円×5600枚 84円×5600枚 事務用消耗品 107,000円 ④生後6か月から15歳まで市民	健康推進課	R2.10.13	R3.3.31	3,845,985	3,845,985	0	3,200,000	0	645,985	予防接種助成数 3,455回 3,455,000円 チラシ等作成消耗品 338,380円 返信封書用郵送料 52,605円	②効果的であった	本臨時交付金を活用し、こどものインフルエンザ予防接種の接種費用の一部を助成したことにより、インフルエンザの感染を防ぎ、新型コロナウイルス感染症との二重の感染を防ぎ、感染拡大防止に効果があったと考えられる。
46	単独	先端ツール活用支援事業	①感染症収束後のV字回復を図るため、事業者のDXによる生産性の向上、業務効率化への取組を支援する。 ②市内事業者が行うデジタル技術を活用した生産性の向上、業務効率化などの取組に対する助成に要する経費に充当する。 ③補助金 500千円×10社 DXセミナー講師謝礼 100千円 ④市内中小企業者(個人事業主を含む)	工業振興課	R3.2.16	R4.2.10	1,500,000	1,500,000	0	1,500,000	0	0	補助件数 3件 1,500,000円	②効果的であった	市内製造業の先端ツールを活用した生産性の向上、業務の効率化、新たな受注開拓及び人手不足の解消等を図る取組を促進できた。ただ、DX化へまだハードルが高く感じている企業が多いと見受けられる。
47	単独	多様な働き方サポート補助事業	①テレワークなど多様な働き方の拡大に対応するため、民間コワーキングスペースの利用を支援、促進し、新しいビジネスチャンスを創出する。 ②民間コワーキングスペースの利用者に対する、利用料等の助成に要する経費に充当する。 ③補助金 5000円×15件×13か月 事務用消耗品 25千円 ④市内民間コワーキングスペース利用者	工業振興課	R3.2.16	R4.3.30	573,110	573,110	0	573,110	0	0	補助件数 161件 616,300円のうち、548,800円 消耗品費 24,310円	②効果的であった	テレワークなど多様な働き方の拡大に対応するため、民間コワーキングスペースの利用を支援、促進し、新しいビジネスチャンスを創出することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

No	補助・単独	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当した経費内容 ③精算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	所管課	事業開始年月日	事業完了年月日	総事業費(A)	補助対象事業費 (B)=(C)+(D)+(E)+(F)				事業実施状況	1.事業効果 ①非常に効果的であった ②効果的であった ③あまり効果的ではなかった ④効果的ではなかった	2.事業効果の具体的な理由	
								国庫補助額(C)	交付金充当経費(D)	起債額(E)	その他(F)				
48	単独	非対面型採用活動支援事業	①コロナ禍における非対面による採用活動に取り組む市内企業を支援し、人材確保と若年層の市内への移住定住を促進する。 ②非対面による採用活動の補助に要する経費に充当 ③補助金 300千円×24社 ④市内中小企業(個人事業主を含む)	工業振興課	R3.2.16	R4.3.30	3,719,000	3,719,000	0	3,719,000	0	0	補助件数 22件 3,719,000円	①非常に効果的であった	就職求人サイト掲載やWebを活用した採用活動費用への補助により、コロナ禍での採用力強化を促進することができた。
49	単独	岡谷市病院事業会計繰出	①岡谷市立岡谷市民病院は、第二種感染症指定医療機関としてコロナ患者を受け入れつつ、地域医療の核を担う総合病院として通常診療を行っているが、コロナ患者を受け入れていることに対する地域住民の警戒心は強く、延べ外来患者数は令和元年度を大きく下回り病院経営を圧迫している。こうしたことから、コロナ対応という特別な診療を行いながら、質の高い医療を安定的かつ継続的に地域に提供していくため、外来収益減収分に対して、市一般会計と病院事業会計の折半ルールにより支援する。(病院事業会計上、人件費以外の経費に充当) ②令和元年度比、外来収益減収分の1/2に対する繰出金に充当する。 ③令和元年度 延べ外来患者163,937人 外来診療単価11,520円 外来収益1,888,554千円 令和2年度見込み 延べ外来患者149,613人 外来診療単価11,468円 外来収益1,715,761千円 外来収益減収 172,793千円 病院事業会計繰出 172,793千円×1/2≒86,400千円 ④岡谷市民病院	企画課 財政課	R3.2.25	R3.2.25	50,000,000	50,000,000	0	44,823,000	0	5,177,000	岡谷市民病院への負担金 50,000,000円	②効果的であった	支援を行ったことで、安定的かつ継続的な質の高い医療の提供を実現することができた。
50	補助	子ども・子育て支援交付金	(放課後児童健全育成事業) ①感染症の影響による学校の臨時休業期間中、放課後児童クラブを特例的に平日昼間に開所し、児童生徒を受け入れる。 ②小学校の臨時休業等により、春休みの終了日の翌日以降、平日において午前中から開所するための経費に充当する。 ③11000円×13施設×35日(開所支援経費) 21000円×6施設×35日(開所人材確保) このうち、コロナ交付金対象事業費 3,214千円 ④地方公共団体	教育総務課	R2.4.1	R2.5.31	5,129,289	5,129,289	1,071,000	1,000,000	0	3,058,289	開所日数 35日 人件費 5,129,289円	①非常に効果的であった	コロナウイルス感染症の影響による学校の臨時休業期間中に放課後児童クラブを特例的に開所することで、児童・生徒に安全な居場所を提供することができた
51	補助	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①学校での感染防止を図るため、必要な資材を整備する。 ②非接触型体温計、マスク、消毒液等の購入に要する経費に充当する。 ③非接触型体温計 19000円×33台 マスク 3000円×51箱 消毒液アルコール 2000円×100リットル 石鹼液 1000円×220kg ④地方公共団体	教育総務課	R2.6.10	R3.3.3	1,208,937	1,208,937	600,000	600,000	0	8,937	支援施設数 11校 消耗品費 1,208,937円 マスク 1,000枚、消毒薬 94個、 アルコール 972リットル、非接触体温計 46個 等	①非常に効果的であった	感染症対策用品等を十分にそろえることができ、学校活動を継続できたため
52	補助	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障に係る支援事業) ①学校再開後、校内での感染防止を徹底するため、学校長判断で迅速に対応できるよう、感染症対策経費として学校配当予算を拡充する。 ②学校へ配当する消耗品費、備品購入費に充当する。 ③消耗品費 500千円×4校 750千円×6校 1000千円×1校 備品購入費 500千円×4校 750千円×6校 1000千円×1校 ④地方公共団体	教育総務課	R2.7.15	R3.3.12	17,623,103	17,623,103	7,500,000	7,500,000	0	2,623,103	支援施設数 11校 消耗品費 17,623,103円 マスク 11,890枚、消毒薬 575個、 自動水栓 81個、体温計 74台、 非接触体温計 32台 等	①非常に効果的であった	感染症対策用品等を十分にそろえることができ、学校活動を継続できたため
54	補助	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	(自立相談支援機関等の強化事業) ①感染症の影響に伴う生活困窮者自立支援体制を強化するため、相談窓口専用回線を設置する。 ②専用回線の新規開設手数料及び電話料に充当する。 ③電話料 5300円×11か月 開設事務手数料 3630円×1式 ④地方公共団体	社会福祉課	R2.5.1	R3.3.30	47,741	47,741	35,000	10,000	0	2,741	電話料 47,741円	①非常に効果的であった	休日等における、住居喪失者や食料がないなど、急迫状態の相談者に対し、迅速な対応が取れる体制ができた。
55	補助	障害者総合支援事業費補助金	(特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービスへの支援等事業) ①学校の臨時休業に伴う、障がい児の居場所を確保する。 ②学校の臨時休業に伴い追加的にサービスを受けることにより生じた利用者負担の軽減を図る経費に充当する。 ③49千円×1施設 4千円×1施設 6千円×1施設 11千円×1施設 4千円×1施設 ④放課後デイサービス事業所	社会福祉課	R2.5.1	R3.3.17	62,960	62,960	31,000	15,000	0	16,960	補助件数 25件 62,960円	①非常に効果的であった	感染拡大に伴う障がい福祉サービス等報酬の増加に伴い、利用者の負担軽減に繋がった。
合計							816,447,434	796,336,241	9,237,000	657,545,110	0	129,554,131			